

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新訓練センター新築工事	階数	地上3F
建設地	さいたま都市計画事業南与野駅西口	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年12月14日
敷地面積	2,315 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	1,363 m ²	確認日	2017年12月15日
延床面積	2,332 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・建物エネルギー性能の高効率化に努め、地球温暖化防止に配慮している		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・照度を確保している ・内装材にF☆☆☆☆を採用している。 ・自然換気有効開口面積に配慮している	・天井高を確保し、広さ感に配慮している ・給排水管は耐用年数の長い部材を採用している ・壁長さ比率を確保し、空間のゆとりを配慮している	・緑地、中木を設置している
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・建物の熱負荷抑制に努めている ・LED照明等の高効率設備機器を採用し、設備システムの高効率化に努めている	・節水型水栓等の採用で、建物の節水性能に配慮している ・LGS下地、OAフロアの採用等、解体時におけるリサイクル性に配慮している ・防水工事のプライマー採用等、化学物質の使用削減に努めている	・省エネ性能に配慮し、LCCO排出率の削減に努めている ・雨水流出抑制への取組みを行っている ・光害の抑制に努めている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される